

一般社団法人 日本コンクリート診断士会
第5回 定時社員総会 資料

平成 26 年 5 月 27 日(火)

議 案

- 第 1 号議案 平成 25 年度事業および収支報告
第 2 号議案 平成 26 年度事業および収支計画
第 3 号議案 細則改訂
第 4 号議案 理事・監事改選

報 告

- (1) 各地区コンクリート診断士会活動報告と計画
(2) 会員数等報告
(3) 参加委員会活動報告
(4) 幹事会

特別講演 演題：地震被害と復旧，今後の対策

東日本旅客鉄道(株) 顧問 兼 JR 東日本コンサルタンツ(株)

取締役会長

石橋 忠良殿

(運輸土木学理工→同鉄→JR(東日本))
2011+協会の会計と復旧対策)

被災地復興、阪神淡路大震災、東日本大震災
JRの復興に尽力

JCD

第1号議案 平成25年度事業および収支報告(案)

1.1 平成25年度事業報告(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

1. 第4回定時社員総会

平成25年5月28日 場所：(公社)日本コンクリート工学会 会議室 正会員出席者47名
委任状出席者547名 合計議決権数594名(議決権数921名)64%
(賛助会員, 法人会員:13名,)

平成24年度事業報告・収支報告, 平成25年度事業計画・収支計画, 行動規範について審議し承認された。

各地区診断士会より活動報告・計画が報告された。

当会理事・副会長の佐藤大分大学教授によるコンクリートの長期耐久性について特別講演があった。

2. 理事会 (メールによるものの日付は発信日)

第4-01回 H25.04.25:大晃商事株式会社が法人会員Cへの入会が承認された。

第4-02回 H25.05.20:JCIインフラドック委員会への参加が承認された。

第4-03回 H25.05.28:社員総会直前理事会が開催され, 地区診断士会所属の個人会員の年間負担について議論した。

第4-04回 H25.06.07:(株)クリテック・ジャパンが法人会員Cへの入会が承認された。

第4-05回 H25.06.07:①第4回定時社員総会の議事録が承認された。

②JCIインフラドック委員会の委員に峰松敏和氏が推選された。

第4-06回 H25.08.20:(株)高環境エンジニアリングが法人会員Cへの入会が承認された。

第4-07回 H25.09.08:第2回JCD幹事会に対する意見集約がなされた。

第4-08回 H25.10.17:中澤 隆雄宮崎大学名誉教授が学術会員として承認された。

第4-09回 H25.10.22:業務体験発表会の開催方針を決定した。

第4-10回 H25.10.29:宮崎県コンクリート診断士会の入会が承認された。

第4-11回 H25.10.29:第3回幹事会の報告に対する意見集約がなされた。

第4-12回 H25.11.06:(株)近代科学社が法人会員Cへの入会が承認された。

第4-13回 H25.12.17:メールかわら版企画(案)が承認された。

第4-14回 H25.12.27:細則改訂(地区診断士会所属個人会員年間負担金)に関する意見集約された。

第4-15回 H26.01.23:三協(株)および(株)第一テクノコンサルタンツ東京営業所の法人会員Cへの入会が承認された。

第4-16回 H26.02.04:コンクリート診断士受験セミナー開催が承認された。

第4-17回 H26.02.18:(株)KSKが法人会員Cへの入会(平成26年度より)が承認された。

第4-18回 H26.02.18:細則第5条(1)地区診断士会所属の個人会員年間負担金の改訂に対する意見を取りまとめ, 総会に諮ることを承認した。

第4-19回 H26.02.26:来年度の理事・監事候補を選定した。

第4-20回 H26.03.17:コンクリートメンテナンス協会主催の補修補強フォーラムに後援することが承認された。

法人会員の入会, 新地区の入会, 学術会員の承認

3. 幹事会

- 第4-1回 平成25年4月3日(木) 16:30~17:40 事務局にて
- ・第4回定時社員総会の附議事項確認, 報告事項確認について。
 - ・5月28日の総会直前理事会の進め方等について。
 - ・平成25年度の行事計画について。
 - ・空白地域の診断士会立ち上げ支援について。
- 第4-2回 平成25年7月23日(火) 16:00~18:15 事務局にて
- ・コンクリート診断士受験対策セミナーについて(報告)。
 - ・会員証発行について(報告)。
 - ・静岡診断士会へ講師派遣について(報告)。
 - ・平成25年度活動計画の実施について。
 - ・地区診断士会所属個人会員の年会費変更についての議論の進め方について。
 - ・JCI参加委員会報告(サステナビリティ委員会, インフラドック委員会)。
- 第4-3回 平成25年11月11日(月) 16:00~18:00 事務局にて
- ・業務体験報告会について。
 - ・メールかわら版について。
 - ・平成26年度理事・監事改選の方法について。
 - ・細則・内規の見直しについて。
 - ・地区診断士会所属の個人年会費の見直し議論の進め方について。
 - ・JCI参加委員会報告・調査診断専門企業一覧表作成について。
 - ・来年度受験対策セミナーの計画について。
 - ・会員数報告。

4. 業務体験発表会

開催日時:平成26年2月26日(水) 13:00~17:30 開催場所:JCI会議室

発表件数:12件 そのうち報告文のみ:3件

大井コンテナ埠頭における電気防食の維持管理:東京・峰松敏和

ひび割れに着目したコンクリート構造物の診断:東京・小野 定

60年経過したポストテンション方式PC橋の健全度調査報告:福井・天谷公彦

東名高速道路跨道橋のはく落防止対策工事:静岡・松井 譲

トンネルの劣化変状とTHIを用いた健全度評価方法:石川・古川博人

無人ヘリによるコンクリート構造物の点検事例:広島・十河茂幸, 渡辺 豊

無機系簡易ひび割れ補修材の効果に関する検討報告:静岡・天野智雄, 白杵 匠

PC道路橋補修・補強(グラウト再注入・PC再緊張):高知・濱渦康博, 原田隆敏

セレコンによる断面修復の品質向上技術:東京・鈴木輝彦

井桁擁壁の酸性水劣化調査:大分・仁木孟伯, 佐藤嘉昭(報告文のみ)

見内橋劣化調査・補修設計:鳥取・奥村智洋(報告文のみ)

赤外線調査における内部要因のノイズ推察と除去:東海・沢田宣之(報告文のみ)

参加者:会員70名, 非会員:4名 合計74名

5. 現場見学会の共催について

平成 25 年 9 月 27 日に東京診断士会・静岡診断士会主催の筑波地区見学会に共催した。筑波地区の建築研究所、土木研究所、ショーボンド建設補修工学研究所を見学した。土木研究所では全国から解体して集められた劣化構造物の展示を見ることができた。林会長，静岡診断士会，東海診断士会、長野県診断士会を含む 71 名が参加した。

6. コンクリート診断士受験対策講座開催

5 月 11 日（土），12 日（日）の二日間で受験対策およびブラッシュアップ講座を開催し、28 名が受講した。（会員 8 名，一般 20 名）

また 6 月 22 日に直前講座として講習会を開催し，14 名が受講した。

テキストには技報堂出版から出版した「コンクリート診断士 受験対策講座」（本体 3,400 円（税別））および「コンクリート診断士受験のための計算問題攻略講座」（本体 1,600 円：税別）を使用した。本受験対策講座は東京コンクリート診断士会と共催で実施した。

7. ホームページ充実

随時ホームページを更新し，各種行事開催予定などの情報を速やかに会員へ提供した。

計画していた法人会員の保有技術について，申請のあった法人会員の保有技術をホームページに掲載した。コンクリート診断士試験の受験コーナーを新設した。

8. 受託業務

事業計画では「要請があれば慎重に対応する」となっており，一般戸建住宅の駐車場コンクリートの変状対応，火害を受けたコンクリートの健全性評価等要請があり調整したが，サービスの技術指導に留まり，契約には至らなかった。

高知県の岸壁，灯台の劣化調査についての依頼は，高知県診断士会に対応を依頼した。受託業務に対する基本方針の検討は行われなかった。

9. 情報交換

各団体等で実施した関連講習会開催情報を，地区診断士会等にメールでお知らせした。

10. 講師派遣

各地区から講師派遣，行事参加等の要望に対しては，以下のように実施した。

・静岡コンクリート診断士会で開催したコンクリート診断士受験対策セミナーに講師を派遣した。

11. 法人会員拡大計画

随時関係者に入会について案内をした。

計画では A 会員 3 社，B 会員 3 社，C 会員 6 社の合計 12 社入会としたが，実績は A 会員 0 社，B 会員 0 社，C 会員 6 社であった。なお，退会はなかった。

12. 会員管理

法人会員，個人正会員，個人賛助会員の追加会員証を作成し配布した。

地区診断士会が取りまとめた個人会員名，連絡先等の会員名簿を定款 11 条に基づき整備・保管を実施した。

13. 催し物の後援・協賛

以下の行事について後援・協賛した。

- ・コンクリートメンテナンス協会 「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム 2013」
開催日：福岡 2013 年 5 月 8 日～札幌 8 月 8 日の間合計 25 か所で開催
- ・日本コンクリート工学会「サステナビリティ委員会・コンクリートの環境側面に関する講演会
開催日：東京 2013 年 6 月 11 日。 大阪 2013 年 6 月 13 日

(以上)

1.2 平成25年度収支報告(案)

平成25年度(平成25年4月1日~平成26年3月31日)の収支・決算を表-1に示す。

表-1 平成25年度の収支・決算

25年度収支決算(案)												
収支	No.	項目	種別	数量	単位	単価	収入	支出	合計	24年度実績	備考	
収入		前年度繰り越し		1	式	854,213	854,213		854,213	616,505		
	1.1	会費	法人会費	SA	0	社	100,000	0	1,866,500	1,789,000		
				A	12	社	50,000	600,000				
				B	8	社	30,000	240,000				
				C	46	社	10,000	460,000				
			個人会費	個人分	1119	人	500	559,500				
				法人分	-36	人	2,500	-90,000			法人登録分地区の会への活動補助金	
				個人分	9	人	3,000	27,000				
			入会金	法人分	7	社	10,000	70,000				
				個人分	0	人	3,000	0				
	2.1	その他収入	受託業務		1	式	0	0	1,411,930	494,371		
	2.2		受験講座講習会		1	式	604,538	604,538			25.5月開催、24年度前受金259,000円含む	
	2.3		直前講座講習会		1	式	194,000	194,000			25.6月開催	
	2.4		講師派遣等		1	式	181,000	181,000			静岡コンクリート診断士会	
2.5		講習会26年度		1	式	154,400	154,400			前受金		
2.6		その他		1	式	6,900	6,900			税還付1900円、パンフレット5000円		
2.7		受取利息		1	式	292	292					
2.8		会員証印刷費		1	式	118,800	118,800			450円未納(高知、新潟)		
2.9		業務報告会参加費		76	人	2,000	152,000			会員64名、非会員5名		
								計	4,132,643	2,899,876		
支出	4	運営費	事務費						1,703,512	1,401,238		
	4.1.1		事務局人件費	1	式	1,035,600		1,035,600				
	4.1.2		事務所経費	12	月	30,000		360,000				
	4.1.4		資料作成費等		式	10,000		0			他項目に含む	
	4.1.5		事務用品費	1	式	6,832		6,832				
	4.1.6		HP維持管理費	12	月	5,000		60,000				
	4.1.7		通信費	1	式	70,396		70,396			電話代、プロバイダー費含む	
	4.1.8		荷送り送料	1	式	1,315		1,315			宅急便他-会員証送付含む	
	4.1.9		会員証作成費	1	式	2,184		2,184			25年度発行予定、定期発行は5年に1回	
			会員証作成費	1	式	62,736		62,736			上質紙代58736円、印刷費4000円	
	4.1.10		振込手数料他	1	式	1,642		1,642				
	4.1.11		租税公課	1	式	0		0				
			その他1	1	式	92,807		92,807			コンピュータ購入、ソフト、ソフトサポート費	
	4.1.12		その他2	1	式	10,000		10,000			パソコン設定ほか	
	4.2		総会費						66,660	44,055		
	4.2.1			特別講演費	1	式	33,411		33,411			3411円は源泉所得税
	4.2.2			資料印刷費	1	式	19,600		19,600			
	4.2.3			椅子他費用	1	式	13,649		13,649			
				その他	1	式	0		0			
	4.3		行事費						111,440	0		
	4.3.1			業務報告会	1	式	111,440		111,440			各地区と共催
	4.3.2			セミナー費	1	式	0		0			各地区と共催し、地区で負担
	4.3.3			見学会費	1	式	0		0			各地区と共催し、地区で負担
	4.4		宣伝広告費						0	30,000		パンフレット改訂費25,000円は次年度繰越
	4.5		活動費						44,375	34,760		
				理事会	1	式	33,075		33,075			5/24理事会屋代
				理事会	1	式	3,300		3,300			資料印刷費25/5/28理事会用
				部会活動費	1	式	8,000		8,000			業務報告会打合せ費
	4.6		役員活動交通費						132,230	58,660		
				事務局交通費	1	式	64,810		64,810			4-12月分、毎田氏交通費
				事務局交通費	1	式	19,200		19,200			1-3月分、毎田氏交通費
				役員活動交通費	1	式	28,960		28,960			11月福井県コンクリート診断士会参加
			役員活動交通費	1	式	19,260		19,260			9月宮崎県コンクリート診断士会総会参加	
			委員会参加交通費	1	回	0		0			インフラドック委員会他	
4.7		受託・講習会関係						892,575	476,950			
4.7.1			外注費	1	式	0		0				
4.7.2			受験講座講習会	1	式	536,576		536,576				
4.7.3			直前講座講習会	1	式	182,679		182,679				
4.7.4			講師派遣他	1	式	167,200		167,200				
4.7.5			講習会CPD登録費	1	回	6,120		6,120			土木学会(受験講座26年度分)	
4.8		法人税等						93,400	77,000		法人税等24年度分 77,000円25年度支払	
4.8.1			法人所得税	1	式	13,900		13,900			24年度分、4,500円	
4.8.2			法人都民税	1	式	24,200		24,200			24年度分、21,100円	
4.8.3			事業税	1	式	3,900		3,900			24年度分、1,000円	
4.8.4			法人市民税	1	式	51,400		51,400			24年度分、50,400円	
4.9		預り金	24年度分	1	式	0		0	0	0		
5		26年度への繰越金		1	式	1,104,851	1,104,851	1,104,851	854,213		法人税は24年度分で計算	
					合計		4,132,643	4,132,643	0			

302

監査報告

以上のおり報告します。

平成26年 3月31日

一般社団法人日本コンクリート診断士会

監査の結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

監

事

上原 泰正



監

事

伊藤 司郎



第2号議案 平成26年度事業および収支計画（案）

2.1 平成26年度事業計画（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

企画部会

1. 第5回定時社員総会開催

平成26年5月27日（火） 場所：公益社団法人日本コンクリート工学会会議室

平成25年度事業報告・収支報告，平成26年度事業計画・収支計画，各部会活動報告と今後の計画，細則改訂，理事・監事改選

2. 理事会開催

総会当日に理事会を開催する。

必要に応じてメールにより随時理事会を開催する。

幹事会報告等について，各部会からの意見に基づき審議する。

3. 幹事会

理事会の指示および年度計画に基づき懸案事項について検討する。

必要に応じて随時開催する。

概ね年間4回程度開催を目標とする。

4. 各地区診断士会同士の交流促進

JCDの将来のあり方について検討する。

JCDと各地区診断士会との役割の明確化に関する意見集約を行う。

5. 既存事業のブラッシュアップと新規事業の企画や提案

既存事業のブラッシュアップや事業推進のためのサポートを行う。

JCDとして行う新規事業の企画や提案を行う。

技術部会

1. 第2回全国業務体験発表会の開催

昨年度実施した「全国業務体験発表会」を本年度も実施する。

実施方法について再検討するとともに，一層有意義な情報交換の場となるよう計画する。

2. 講師派遣

地区診断士会等からの研修会・講演会等の講師派遣要請に対して，講師の紹介や，適任者を選定し派遣する。

3. 受託業務対応

構造物の維持管理等の受託業務（定款第3条（4））への対応は，受託の可否を含めて基本方針を検討する。

要請があった場合にはリスク等を十分考慮し，慎重に対応する。

4. 関連委員会等へ参加

現在参加している JCI のサステナビリティ委員会，インフラドック委員会に引き続き参加し情報共有と，当会としてできる範囲で支援を行う。

土木研究所構造物メンテナンスセンターのシーザー技術交流会へ参加し，情報の共有化に努める。

・報告書（Dataも数年間まとめて）製本・出版 → 活用
→ JCD 最初の PR

JCIの「インフラドック委員会」は本年度から本格的な活動を計画しているので、診断士の役割明確化、資質向上、発注者へのPR等を積極的に支援するとともに、当会の役割分担についても調整する。

5. 技術情報収集と会員への共有化

会員からの技術情報やトピックス等を募集し、全会員への有用な情報を提供する。

行政、学会、JCIなどの主なトピックス、各地区で実施している取組み、新聞記事等の情報を共有化する。

広報部会と協働してメールかわら版の発行を支援する。

6. コンクリート診断士受験者支援と診断士の資格所有者に対する技術力不足等への対応、社会的な期待に応えるべく、診断士受験・診断技術ブラッシュアップ講座などを開催するとともに、各地区での同種講習会の計画に対して、講師推薦・派遣、資料紹介等の支援を行う。

広報部会

1. メールかわら版の発行

本年度から個人会員へ直接メール送信して関連情報の共有化を図るメールかわら版を技術部会と協働して発行する。

本年度は2回発行を予定している。

2. ホームページの充実

地区診断士会活動紹介、技術情報、催し物情報、特に地区診断士会からの情報提供による情報等を掲載する。→事務局に協力

3. 関連官公庁等へのPR

国土交通省、都道府県、高速道路各社、土木研究所等へ当会の紹介と診断士制度活用についてPRする。

以上、広報部会内で具体的な活動計画を作成し実行する。

4. 関連催し物の後援

JCI、関連団体等で実施する本会の目的に合致する催し物を積極的に後援し、認知度向上と関連団体との連携強化を図る。

○ 構造物の維持管理に有利な技術関係の情報発信 → かわら版等も有効利用
○ 各地区の催し物

会員部会

1. 空白地区の診断士会設立促進・支援

特に関西、東北、四国、九州地区の診断士会設立のために引き続き支援活動をする。

会員部会が中心となり、企画・広報部会と連携し、具体的な計画を検討し実行する。

現在、新規に診断士会を設立し当会に所属していない、または設立を検討している地区は熊本県、宮城県、香川県、長崎県等がある。 3月決定 宮城県(121名) 東北学院大学 武井先生 長野県準備中

2. 個人会員、法人会員増に対する活動

診断士更新講習会等のチャンスを活用して入会へのPRを実施する。

コンクリート診断、補修・補強業務に関係の深い企業に対し、積極的に法人会員へ入会へのPRを随時実施し、法人会員の増加を図る。

財務部会

1. 当会の定款に定められた事業計画を実行するための健全な財務体質を構築する。

2. 効率的な活動を実施するため、収入増加、支出削減対策を検討・実施する。
3. 当会の財務の執行状況を適時確認し、必要に応じて事務局と協働して適正化を図る。

事務局

1. 会長、副会長、理事間、各部会間、地区診断士会間の連絡調整
会長、副会長、各理事、各部会活動および各地区診断士会活動連携強化の支援を行う。
2. 会員管理の充実
会員名簿等の会員情報の更新、会員証発行、地区診断士会との調整等确实かつ円滑に実施する。
新規入会者に対して6月、10月の2回にまとめて会員証を発行する。
個人会員証の裏に行動規範要約を印刷し、これを携帯することにより、会員の倫理意識の向上を図る。
3. 事務局業務の効率化、簡素化
予算管理、確定申告、ホームページ更新等の年間事務局業務を整理し、効率化と経費節減に努力する。
4. 部会・幹事会活動の支援
各部会・幹事会活動が円滑に推進できるように支援する。
本年度は新たにメールかわら版の発行を計画しているので、実施体制整備を支援する。
5. その他業務
当会の目的を達成するための諸業務を実施する。

(以上)

2.2 平成26年度収支計画（案）

平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の収支・決算を表-2に示す。

表-2 平成26年度の収支計画

		26年度収支予算(案)										
収支	No.	項目	種別	数量	単位	単価	収入	支出	合計	25年度実績	備考	
収入		前年度繰り越し		1	式	1,104,851	1,104,851		1,104,851	854,213	26年度分には前受金154,400円含む	
	1.1	会費	法人会員会費	SA	0	社	100,000	0	1,998,500	1,866,500		
				A	13	社	50,000	650,000				
				B	9	社	30,000	270,000				
				C	50	社	10,000	500,000				
			個人会員会費	個人分	1200	人	500	600,000				
				個人分	47	人	2,500	-117,500			法人登録分	
				個人分	10	人	3,000	30,000				
			入会金	法人分	6	社	10,000	60,000				
				個人分	2	人	3,000	6,000				
	2.1	雑収入	受託業務		1	式	0	0		896,400	1,411,930	
	2.2		受験講座講習会		1	式	317,400	317,400				26.5月開催予定、前受金は減額
	2.3		直前講座講習会		1	式	219,000	219,000				26.6月開催予定
	2.4		講師派遣等		1	式	200,000	200,000				静岡、高知県
2.5		業務発表会参加費		1	式	160,000	160,000					
2.6		講習会27年度分		1	式		0				前受金	
2.7		その他		1	式	0	0					
2.8		受取利息		1	式	0	0					
								計	3,999,751	4,132,643		
支出	4	運営費	事務費						1,716,000	1,703,512		
	4.1.1		事務局人件費	12	式	90,000		1,080,000				
	4.1.2		事務所経費	12	月	30,000		360,000				
	4.1.4		資料作成費等	1	式	20,000		20,000				
	4.1.5		事務用品費	12	式	2,000		24,000				
	4.1.6		HP維持管理費	12	月	5,000		60,000				
	4.1.7		通信費	12	式	6,000		72,000			電話代、プロバイダー費含む	
	4.1.8		荷造り送料	1	式	10,000		10,000			宅急便他	
	4.1.9		会員証作成費	100	枚	20		2,000			定期発行は5年に1回	
	4.1.10		振込手数料他	1	式	3,000		3,000				
	4.1.11		租税公課	1	式	5,000		5,000				
	4.1.12		その他	1	式	80,000		80,000			定款更新、図書、ソフト他	
	4.2		総会費						92,000	66,660		
	4.2.1		特別講演費	1	式	56,000		56,000				
	4.2.2		資料印刷費	70	部	300		21,000				
	4.2.3		椅子他費用	1	式	15,000		15,000				
			その他	1	式	0		0				
	4.3		行事費						120,000	111,440		
	4.3.1		業務発表会	1	式	120,000		120,000			資料印刷費、会場費他	
	4.3.2		セミナー費	1	式	0		0			各地区と共催し、地区で負担	
	4.3.3		見学会費	1	式	0		0			各地区と共催し、地区で負担	
	4.4		宣伝広告費						50,000	0	パンフレット改訂費28000円含む	
	4.5		活動費						159,000	44,375		
			理事会	1	式	54,000		54,000				
			理事会資料他	1	式	5,000		5,000				
			部会活動費	5	部会	20,000		100,000				
	4.6		役員活動交通費						216,000	132,230		
			事務局交通費	12	月	9,500		114,000				
		役員活動交通費	1	式	90,000		90,000			理事、幹事交通費他		
		委員会参加交通費	8	回	1,500		12,000					
4.7		受託・講習会関係						822,320	892,575			
4.7.1		外注費	1	式	0		0					
4.7.2		受験講座講習会	1	式	416,020		416,020					
4.7.3		直前講座講習会	1	式	210,300		210,300					
4.7.4		講師派遣他	1	式	190,000		190,000					
4.7.5		講習会CPD登録費	1	回	6,000		6,000			土木学会(講習会他)		
4.8		法人税等						89,000	93,700	法人税等25年度分 97,100円		
4.8.1		法人所得税	1	式	11,200		11,200			25年度分 16,900円		
4.8.2		法人都民税	1	式	23,400		23,400			25年度分 24,300円		
4.8.3		事業税	1	式	3,200		3,200			25年度分 4,100円		
4.8.4		法人市民税	1	式	51,200		51,200			25年度分 51,800円		
4.9		預り金	25年度分	1	式	150		150	150	0		
5		予備費					730,731	730,731	730,731	1,104,851	法人税は25年度分で計算	
			合計				3,999,751	3,999,751	0			

12/725 7/2
120/100

第3号議案 細則の改訂

項目	改訂前	改訂後
第1条	本会に入会を申し込むものは、本会所定の申込書に記入し、各地区の会（呼称は自由とする）を通じ、それ以外は本会本部に直接申し込むことを原則とする。	本会に入会を申し…原則とする。 各種連絡、社員総会案内はインターネットを利用して行うので、これに対応できる通信手段（メールアドレス）を有していることを原則とする。
第3条(5)	本法人に3月31日に在籍の学会会員、正会員は社員総会の議決権を有する。	本法人に4月1日に在籍の学会会員、正会員は社員総会の議決権を有する。
第4条3～4	3 新規入会者に対する会員証は4月1日、および10月1日の年に2回に集約して発行する。 4 紛失等により会員証を再発行する場合には、手数料（1,000円）を徴収する。	3 本法人に会員証発行年の4月1日に在籍している会員に対して6月に会員証を発行する。 4 新規入会者に対する会員証は6月、および10月の年に2回に集約して発行する。 5 紛失等により会員証を再発行する場合には、手数料（1,000円）を徴収する。
第5条および(1)	会員は、本会の事業活動にあてる会費として、次の年会費を負担する。 (1)正会員・賛助会員 年額3,000円 なお、地区の会に所属する会員はそれぞれの地区の会の規定により年会費を支払い、年額のうち500円を本部会費に、それ以外の会費は地区の会の活動費として使用する。	会員は、本会の事業活動にあてる会費として、次の年会費を負担する。なお、本法人に4月1日に在籍している会員および途中入会者が対象となる。 (1)正会員・賛助会員 年額3,000円 なお、地区の会に所属する会員はそれぞれの地区の会の規定により年会費を支払い、そのうち800円を本会会費に、それ以外の会費は地区の会の活動費として使用する。ただし、本項の適用は27年度からとする。
第7条	各地区における活動を効果的に運営するために、理事会の決議により地区の会の承認をすることができる。	各地区における活動を効果的に運営するために、地区の会申請書を理事会に提出しその承認により地区の会の設置をすることができる。
第8条2	2 設立時の部会は企画部会、技術部会、広報部会とする。	2 部会は企画部会、技術部会、広報部会、会員部会、財務部会とする。
第16条	(新規)	会員は所属、住所、連絡先（TEL、メールアドレス）に変更が生じた場合には、JCD事務局に速やかに連絡するものとする。変更の連絡がない場合には、議決権等の会員の権利を行使できない場合がある。 なお、個人情報のは会の連絡等以外には使用しない。

以上

第4号議案 理事・監事改選

一般社団法人日本コンクリート診断士会 理事・監事候補者名簿

	氏名	役職	地区診断士会役職
代表理事	林 静雄	会長	
理事	小野 定	副会長	東京コンクリート診断士会 会長
理事	佐藤 嘉昭	副会長	NPO法人大分県コンクリート診断士会理事長
理事	石川 裕夏	企画部会長	福井県コンクリート診断士会 会長
理事	原田 隆敏	企画部会副部会長	高知県コンクリート診断士会 会長
理事	岡崎 勝信	企画部会副部会長	宮崎県コンクリート診断士会 事務局長
理事	奥田 由法	技術部会部会長	石川県コンクリート診断士会 相談役
理事	奥村 智洋	技術部会副部会長	鳥取県コンクリート診断士会 会長候補
理事	米倉 亜州夫	技術部会副部会長	広島県コンクリート診断士会 会長
理事	名倉 昭三	広報部会部会長	静岡コンクリート診断士会 会長
理事	日堂 俊之	広報部会副部会長	長野県コンクリート診断士会 会長
理事	岸川 英樹	広報部会副部会長	京滋コンクリート診断士会 役員（事務担当）
理事	奈良 裕	会員部会部会長	青森県コンクリート診断士会 会長
理事	田澤 雄二郎	会員部会副部会長	東京コンクリート診断士会 副会長
理事	井田 豊	財務部会部会長	島根県コンクリート診断士会 会長
理事	竹内 祥一	財務部会副部会長	東海コンクリート診断士会 会長
理事	毎田 敏郎	事務局長	東京コンクリート診断士会 役員（事務局次長）
監事	伊藤 司郎		新潟県コンクリート診断士会 副会長
監事	田畑 雅幸		北海道コンクリート診断士会 副会長

3号議案補足説明資料

第5条(1)の改訂について補足

上記の改訂について理事会および幹事会にて実施した検討経緯を示す。

- ・25年度社員総会前の理事会で各地区の会に所属する個人会員の会費負担変更（以下、会費変更）について検討した結果、総会付議事項に取り上げられるまでに至らなかった。
- ・その後、幹事会にて会費を現行のまま（年500円）で継続した場合の収支予測を実施した結果、27年度に赤字決算となることが判明した。
- ・上記の収支予測では、事務局業務分析の結果、事務費に占める事務局人件費、事務所経費の割合が約80%と大きく、事務局人件費が事務費に占める割合が25年度予測では64%から62%に減少し、会員数の増加にかかわらず効率化している傾向があることも分かった。
- ・主な事務局業務は、会計業務、総会対応業務、理事会・幹事会関係業務、会員管理業務、活動関係業務で、約90%を占めている。これらは会の運営上欠かせない業務である。
- ・会費変更を理事会で再検討した結果、800円（300円アップ）ならばよいとの意見が多かった（11/14）。ただし、さらなる事務局業務ほかの合理化が必要であるとの意見も出された。

上記の検討の結果、地区の会に所属する個人会員が負担する本会会費を27年度から500円から800円を提案するとともに、次の事項の改善に努め、収支の改善を行うことにした。

- ・現在行っている事務局業務の一部を部会で負担できないか検討し、事務局業務の軽減を図る。一つの事例として25年度実施した業務体験発表会がある。
- ・不急の事務局業務の対応方法を検討し、事務の改善を図る。
- ・会員、とくに法人会員の増を図り収入の確保に努める。

会員のメリットは何かとの意見が出されたが、本会の定款にもあるように「診断士の社会的地位向上、処遇改善への活動」は直接すぐに個人会員のメリットとしては感じられないが、大変重要な活動であり、長期的には診断士資格所有者のメリットとなる。短期的な個人的メリットを期待しすぎるのは本会本来の目的にそぐわないと考える。

今後実施される、ホームページ、業務体験報告会、メールかわら版等で関連情報の共有化が図れ、個人会員としてもメリットが実感できることが期待できる。

報告 (1) 各地区コンクリート診断士会活動報告および計画

会 名 称 (地域)	設立年月 会員数 (H25.3) (個人) : 名 (法人) : 社	平成 25 年 度 活 動 報 告	平成 26 年 度 活 動 計 画
福井県コンクリート診断士会 (福井県)	平成16年3月 会員数 (H26.4) 個人 : 93名 賛助法人 : 23社 賛助個人 : 3名	<ul style="list-style-type: none"> ・設立10周年記念講演会および記念パナーチーの開催 ・設立10周年記念誌の作成・発行 ・研修会最高出席率表彰 感謝状の贈呈 ・研修会 計8回の開催 (現場見学会 4回、座学形式のセミナー 4回) ・橋梁長寿命化修繕計画策定委員会への委員派遣 (坂井市、池田町、南越前町の3市町委員会) ・福井県内の各市町自治体職員向け研修会 (現場実習) への講師の派遣 ・コンクリート診断士受検対策セミナー (福井県主催) への講師の派遣 (計2回)、後援 ・フクイ建設技術フェアへのブースの出展 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催 (7回程度) の開催予定 ・賛助法人による保有技術発表会の開催 ・橋梁長寿命化修繕計画策定委員会への委員派遣 ・福井県内の各市町自治体職員向け研修会への協力、講師の派遣 ・コンクリート診断士受検対策セミナーの後援、講師の派遣 ・フクイ建設技術フェアへのブースの出展 ・教育機関への出前授業
鳥取県コンクリート診断士会 (鳥取県)	平成17年5月 会員数 (H26.4) 個人 : 30名 法人 : 13社	<ul style="list-style-type: none"> ①第8回通常総会 (H25.5.31)、②県道路企画課 山本課長講演 (H25.5.31)、③広報活動「県へ要望書提出及び意見交換」(H25.6.24)、④技術委員会 (H25.6.27)、⑤コンクリート耐久性等の品質向上検討委員会派遣 (H25.7.8)、⑥ホームベジの会員専用ページにて掲示板システム開始 (H25.9.2)、⑦講師派遣、鳥取県建設技術センター講習会「コンクリート構造物の補修技術」(H25.9.11)、⑧県技術企画課と意見交換 (H26.2.28)、⑨現場見学会 (H26.4.16)、⑩役員会 (計3回) 	<ul style="list-style-type: none"> ①第9回通常総会 (H26.5.22)、同日 JCD林会長による講演、②講習会 (1回)、③現場研修会1回 (10月頃予定)、④役員会 (4回)、⑤技術委員会 (2回)、⑥広報活動 (H26.7)、⑦県及び建設技術センターとの意見交換会 (2回)、⑧発注者支援 (2回程度)、⑨コンクリート耐久性等の品質向上検討委員会派遣 (2回)、⑩鳥取県施工管理技士会の講習会に講師派遣 (H26.6.10、11)
鳥根県コンクリート診断士会 (鳥根県)	平成17年6月 個人 : 66名 法人 : 22社	<ul style="list-style-type: none"> ①第1回理事会 (H25.5.11)、②診断士試験受験準備講習会 (H25.6.14)、③総会及び研究発表会 (H25.6.15)、④第2回理事会 (H25.8.17)、⑤土木学会全国大会 (H25.9.4-6)、⑥見学会 (H25.9.21-22)、⑦土木技術講習会 (H25.10.4) 	<ul style="list-style-type: none"> ①第1回理事会 (H26.4.19)、②診断士試験受験準備講習会 (H26.6.13)、③総会及び研究発表会 (H26.6.14)、④見学会 (H26.秋頃)、⑤技術研修会 (H26.11頃)、⑥第2回理事会 (H26.12頃)、⑦新着例会 (H27.2頃) ⑧第3回理事会 (H27.3頃)
東京コンクリート診断士会 (関東)	平成17年11月 個人 : 188名 法人会員制度なし	<ul style="list-style-type: none"> ①第9回定時総会 (H25.5.28) 出席者33名 (委任状含む) ②JCDと共催で診断士受検対策講座 (H25.5.11.12) 参加者28名 ③JCDと共催で診断士受検対策直前講座 (H25.6.22) 参加者14名 ④第15回技術セミナー (H25.8.7) 参加者63名 ⑤現場見学会 (静岡診断士会と共催) 建研、土研、ジョーボント建設技研 (H25.9.27) 71名参加 ⑥第16回技術セミナー (H25.12.4) 参加者70名 ⑦役員会9回開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ①第10回定時総会 (H26.5.27) ②診断士受検対策講座 (H26.5.10、11) ③診断士受検直前講座 (H26.6.21) ④設立10周年記念第17回技術セミナー (H26.7.7) ④第18回技術セミナー (平成26.12)
石川県コンクリート診断士会 (石川県)	平成18年6月 会員数 (H25.8) 個人 : 76名 法人 : 9社	<ul style="list-style-type: none"> ①第7回通常総会 (H25.5.24) ②特別講演会 (H25.5.24 「鋼橋の診断について」 三ツ木幸子教授 (石川高専)) ③現場研修会 (H25.4.23 橋りょう上部工建設工事現場見学、H25.9.10 デンカセメント工場見学) ④技術講演会 (H25.8.22 「塩害実態PC桁の耐荷性能」 村上祐貴准教授 (長岡高専)、「損傷から見た良いコンクリート造り」 吉兼亨氏 (宇部生コンクリート社)) ⑤診断事例講習会 (H26.2.20) 会員による診断事例報告 	<ul style="list-style-type: none"> ①第7回通常総会および特別講演会 (H26.5.20予定) ②現場研修会 (H26.9月頃予定) ③技術講習会 (H26.7月頃予定) ④診断事例講習会 (H27.2月頃予定)
NPO法人 大分県コンクリート診断士会 (大分県)	平成18年8月 会員数 (H25.3) 個人 : 68名 法人 : 1社	<ul style="list-style-type: none"> ①第7回 受検対策通信講座:H25.5~H25.7 受講者9名、②第8回 通常総会: H25.6.6、③第14回 技術講演会: H25.6.6 (会員限定) 参加者43名、④第15回 技術講演会 (一般公開) : H25.10.11 参加者174名、⑤第5回 現場見学会 (デザイン工法) (一般公開) H25.11.15 参加者14名、⑥理事會: 計9回、⑦会員交流会: 報告書3件 ⑧調査診断: 報告書3件 ⑨広報活動: ホームページの更新など 	<ul style="list-style-type: none"> ①第8回 受検対策通信講座:H26.5~H26.7 受講者10名予定、②第16回 技術講演会: H26.5.22 (会員限定) 参加者50名予定、④第17回 技術講演会 (一般公開) : H26.10頃 参加者250名予定、⑤第6回 現場見学会 (耐震補強工事など) (一般公開) H26.10頃 参加者30名予定、⑥理事會: 計6回程度、⑦会員交流会: 計4回程度、⑧調査診断: 報告書3件 ⑧第9回通常総会 (H26.5.13予定) ⑨特別講演 (H26.5.13予定) ⑩JCI東北支部「診断士の技術研鑽のための勉強会」への協力 ⑪連絡地区診断士勉強会 (H26.12予定) ⑫役員会 (2回予定)
青森県コンクリート診断士会 (青森県)	平成18年9月 個人 : 55名 法人 : 4社	<ul style="list-style-type: none"> ①第8回通常総会 (H25.5.10) 参加者 29名 ②特別講演 (H25.5.10) 「青い森の橋ネットワークの活動報告」八戸工業大学・土木建築学科 阿波教授 ③JCI東北支部主催「コンクリート診断士の技術研鑽のための勉強会」 ④青い森の橋ネットワーク全体会議 (H25.11.6) 参加 ⑤青森県コンクリート診断士会・八戸工業大学・セメント協会 共催 	<ul style="list-style-type: none"> ①第9回通常総会 (H26.5.13予定) ②特別講演 (H26.5.13予定) ③JCI東北支部「診断士の技術研鑽のための勉強会」への協力 ④連絡地区診断士勉強会 (H26.12予定) ⑤役員会 (2回予定)

有...
現...
白...
打...
...

会 名 称 (地域)	設立年月 会員数 (H25.3) (個人) : 名 (法人) : 社	平 成 25 年 度 活 動 報 告	平 成 26 年 度 活 動 計 画
静岡コンクリート診断士会 (静岡県)	平成18年12月 個人: 50名 (法人): 5社	①第8回通常総会 (H25. 6. 14)、②技術研修会 (H25. 5. 16)、④第2回コンクリート診断士試験対策講座開催 (H25. 5. 14, 15)、⑤コンクリート診断士技術研修会 (H25. 11. 22)、⑥現場研修会 (H25. 9. 27)、⑦役員会 (H25. 計5回) ①第6回通常総会 (H25. 7. 20) 出席者25名 ②第1回コンクリート診断士試験対策講座 (2013. 5. 18~5. 19) 参加人数30名 (H25. 9. 20) 参加者200名 講演 I 『1777構造物の劣化の現状と維持・更新』 : 五十川 泰史 国土交通省 四国地方整備局 企画調査官 講演 II 『検査で気がついたこと〜コンクリートの施工について』 : 森下 正浩 高知県土木部 建設検査課 講演 III 『コンクリート構造物のひび割れ抑制対策』 : 十河 茂幸 広島工業大学 教授 ④コンクリート構造物の補修・補強に関するセミナー (2013. 7. 26) 主催: (一般社団法人コンクリート・メンテナンス協会)への参加 ⑤コンクリート劣化の劣化と補修工法選定の考え方』 『コンクリート診断型型漏れ防止対策について』 ⑤役員会 (H. 25. 1. 1~26. 3. 31 計12回開催) ⑥広報活動 (通年を通じて新規参加者への誘致) ⑦他県コンクリート診断士会との交流: 福井県コンクリート診断士会設立10周年記念講演への出席 ⑧第1回業務報告会 当会会員 講演 講演『PC道路橋の』	①第9回通常総会 (H26. 6. 27)、②技術研修会 (H26. 6. 27)、③第2回コンクリート診断士試験対策講座開催 (H2. 5. 13, 14)、⑤コンクリート診断士技術研修会 (H25. 9月予定)、⑥現場研修会 (H25. 9月予定) ①第7回通常総会 (H26. 6. 7予定) ②第5回コンクリート技術研修会 (H26. 9月中の予定) ③コンクリート診断士試験対策講座: 講師 島弘、横井 克則 (当会顧問)、橋本 典典 (徳島大学 大学院教授)、木村 克彦 (日本コンクリート診断士会 幹事) H26. 5. 31~6. 2開催予定 ④役員会 (随時) ⑤広報活動 (新規有資格者の入会誘致) ⑥他地区コンクリート診断士会との交流参加
高知県コンクリート診断士会 (高知県)	平成20年8月 個人: 30名 (H26. 4. 30) (法人): 2社	本会の会計年度は2013. 10. 1~2014. 9. 30までのため完了報告は出来ません。今期は研修会3回、現地見学会1回を計画し、内、研修会はH25年10月28日に完了した。	左記により未定
京滋コンクリート診断士会 【京都府、滋賀県】	平成20年8月 個人: 48名 (法人): 14社	①第7回通常総会 (H25. 7. 4)、②シンポジウム (テーマ: インフラの老朽化を考える) (H25. 7. 4)、③技術セミナー (テーマ: インフラの老朽化を考えるパートII) (H25. 12. 3)、④新高島主催研修会等への講師派遣 (H25. 10. 10他3回)、⑤役員・幹事会 (H25. 4. 19他7回)、⑥技術部会 (H25. 5. 2他4回)、⑦広報活動 (随時)	①第8回通常総会 (H26. 7. 8予定)、②講演会1回 (H26. 7. 8予定) ③技術セミナー2回 (H26. 10・H27. 2項予定)、④現場見学会1回 (H26. 12項予定)、④診断士普及講習会3回、⑤役員会、⑥技術部会、⑦広報活動 新井の家の地味料理
新潟県コンクリート診断士会 (新潟県)	平成21年1月 個人: 108名 (法人): 1社	①第5回通常総会 (H25. 4. 12)、②特別講演 (H25. 5. 15)、④第1回コンクリート診断士技術研修会 (H25. 6. 11)、⑤第2回コンクリート診断士技術研修会 (H25. 8. 28)、⑥現場研修会 (H25. 9. 26) ③3回コンクリート診断士技術研修会 (H25. 11. 6)、⑧役員会 (H26. 3)	①第6回通常総会 (H26. 4. 17)、②コンクリート診断士技術研修会4回 (H26. 6・8・10・11予定)、③特別講演1回 (H26. 4. 17)、④診断士普及講習会1回 (H26. 5予定)、⑤現場研修会1回 (H26. 10予定)、⑥役員会、⑦技術部会、⑧広報活動
北海道コンクリート診断士会 (北海道)	平成22年6月 個人: 77名 (法人): 4社	①第4回東海コンクリート診断士会通常総会 (H25. 5. 31)、②東海コンクリート診断士会・MEの会 合同研修会 (H25. 7. 12)、③東海コンクリート診断士会 秋の研修会 (太平洋セメント藤原工場見学・乾式吹付工法についての講座) (H25. 11. 20)、④東海コンクリート診断士会 幹事会 (H25. 12. 6)、⑤東海コンクリート診断士会 幹事会 (H26. 3. 20)	①第5回東海コンクリート診断士会通常総会 (H25. 5. 30予定)、②コンクリート診断士試験受験講座 (H25. 6未予定)、③東海コンクリート診断士会・MEの会 合同研修会 (H25. 7予定)、④東海コンクリート診断士会 秋の研修会 (H25. 10項予定)、⑤東海コンクリート診断士会 幹事会 (H25. 12項予定)、⑥東海コンクリート診断士会 幹事会 (H26. 3項予定)
東海コンクリート診断士会 (愛知県、岐阜県、三重県) 581、170、75	平成22年6月 個人: 77名 (法人): 4社	①第3回通常総会 (H25. 6. 15)、②特別講演 (H25. 6. 15)、③第1回コンクリート診断士技術研修会 (H25. 8. 31)、④役員会 (H25. 3. 30計1回)、⑤広報活動 (H25. 7. 31計1回)、⑥研修会後援 (JCI見学会計画と実施、H25. 11. 2)	①第4回通常総会 (H26. 6. 21予定)、②コンクリート診断士技術研修会1回 (9月頃予定)、③現場研修会12回 (未定)、④役員会2回予定、⑤広報活動1回予定
長野県コンクリート診断士会 (長野県)	平成23年7月 個人: 60名 (法人会員含む) (法人): 0社	①第3回通常総会 (H25. 6. 28)、②特別講演 (H25. 6. 28) 施工技術研究所 谷倉部長 「コンクリート構造物に生じた変状部の断面修復について」、③診断士普及講習会: 講師派遣 広島県測量設計業協会主催「コンクリート構造物の維持管理講習会 (H25. 5. 28)、④現場研修会 (H25. 5. 10) (広島南道路光面高梁橋床版工事)、(H25. 10. 12) 「広島コンクリート劣化損傷物件の定点調査 (2013)」、(H25. 11. 18) 「無人ヘリを用いた橋梁点検見学会 広島市紙園大橋」、⑤役員会 (H25. 隔月計6回)、⑥技術研修会 (H25定例サロンの月計5回)、⑦その他: (H26. 4. 9) コンクリート探偵会 (合同診断講習会) 広島市内で実施 (探偵員8名)	①第4回通常総会 (H26. 6. 11予定)、②技術研修会5回 (隔月予定)、③講演会1回 (第4回通常総会時予定)、④診断士普及講習会: 講師派遣 広島県測量設計業協会主催 コンクリート構造物の維持管理講習会 (H26. 5. 27)、⑤現場研修会2回 (1回目H26. 5. 4予定)、⑥役員会 隔月6回予定
広島県コンクリート診断士会 (広島県)	平成25年6月 個人: 94名 (法人): 49社	①設立総会 (H25. 6. 27)、②コンクリート診断士試験振り返り講習会 (H25. 9. 2)、③現場見学会 (H25. 12. 10)、④現場見学会 (H26. 2. 7)	①第2回通常総会 (H26. 6. 24)、②小戸の橋現地調査 (H26. 6)、③コンクリート診断士試験対策勉強会1回目 (H26. 6)、④コンクリート診断士試験対策勉強会2回目 (H26. 7)、⑤小戸の橋現地調査結果発表会 (H26. 9)、⑥コンクリート診断士会親睦会 (H26. 11)、⑦相生橋調査会 (H27. 2)

本報に掲載の情報は
徳川堂(東大)
提供

奈良県建設協会
提供

建設技術協会
提供

15
W/CE 50%
建設技術協会
提供
2025年14月

報告 (2) 会員数等報告

個人会員数 (26. 5. 23 現在)

No.	名 称	学術	正(法)	賛(法)	正	賛助	合計
1	福井県コンクリート診断士会	0			93	2	95
2	鳥取県コンクリート診断士会	2			30	0	32
3	島根県コンクリート診断士会	1			66	0	67
4	東京コンクリート診断士会	2	15	8	164	2	191
5	石川県コンクリート診断士会	0			64	4	68
6	NPO 法人 大分県コンクリート診断士会	1	1	0	66	0	68
7	青森県コンクリート診断士会	2	1	0	42	0	45
8	静岡コンクリート診断士会	0			50	0	50
9	京滋コンクリート診断士会	0	2	0	15	1	18
10	高知県コンクリート診断士会	2			28	0	30
11	新潟県コンクリート診断士会	2			101	5	108
12	長野県コンクリート診断士会	2	2	1	40	14	59
13	北海道コンクリート診断士会	0	5	1	111	11	128
14	東海コンクリート診断士会	0	1	3	56	16	76
15	広島県コンクリート診断士会	2	0	0	69	0	71
16	宮崎県コンクリート診断士会	1			31	62	94
17	直接入会会員		1		8	1	10
	合計	17	28	13	1034	118	1210

法人会員数 (26. 5. 23 現在)

No.	法人会員 R	会員数	法人登録会員	
			正会員	賛助
1	ランク SA	0		
2	ランク A	12	11	6
3	ランク B	8	4	2
4	ランク C	48	13	5
	合計	68	28	13

報告 (3)

(1) 25年度サステナビリティ委員会・サステナビリティフォーラム活動報告

25年度のサステナビリティフォーラムの活動の概要（委員会開催月日+主な議題）を以下に示す。

第6回 2013年5月17日

- ①前回議事録確認
- ②コンクリートの歴史（野口）
- ③コンクリート建造物の安全・安心（堺）
- ④コンクリート関連セクターのCO₂排出削減と国際展開（高橋）
- ⑤コンクリート関連セクターの資源循環（今井）
- ⑥石炭灰・フライアッシュ（高橋）
- ⑦生物環境・地域環境の保全・向上（天野）
- ⑧コミュニケーション（今井）
- ⑨化学混和剤（西村）
- ⑩長寿命化（木村）

第7回 2013年7月12日

- ①前回議事録確認
- ②コンクリート建造物の安全性（堺）
- ③コンクリート関連セクターの資源消費・CO₂排出の低減（高橋）
- ④コンクリート関連セクターの資源循環（今井）
- ⑤生物環境・地域環境の保全・向上（天野）
- ⑥コミュニケーション（今井）
- ⑦化学混和剤（西村）
- ⑧長寿命化（木村）
- ⑨人材育成（野口）

第8回 2013年10月16日

- ①前回議事録確認
- ②コンクリート関連セクターの資源消費・CO₂排出の低減（高橋茂）
- ③生物環境・地域環境の保全・向上（天野）
- ④長寿命化（木村）
- ⑤国際展開（高橋茂）
- ⑥資源循環（今井）
- ⑦ステークホルダー（今井）
- ⑧今後の展開

第9回 2013年11月28日

- ①前回議事録確認

- ②サステナビリティフォーラムの今後の展開（高橋）
- ③人材育成（野口）
- ④長寿命化（木村）
- ⑤コミュニケーション（今井）
- ⑥生物環境・地域環境（天野）
- ⑦資源循環（今井）
- ⑧安全性（堺）
- ⑨その他

第10回 2014年2月25日

- ①前回議事録確認
- ②サステナビリティフォーラムの今後の活動（堺）
- ③人材育成（野口）
- ④国際展開（高橋茂）
- ⑤資源消費とCO₂排出の削減（高橋茂）
- ⑥生物環境・地域環境（天野）
- ⑦社会資本の長寿命化（木村）
- ⑧資源循環（今井、高橋守男）
- ⑨コミュニケーション（今井）
- ⑩今後の活動

フォーラムの構成：委員 8名，オブザーバ 1名

26年度の活動として、26年8月を目標に委員会報告書を作成すること、SフォーラムのHPを作成するなどが挙げられた。また、何らかの方法でメディアに取り上げられるように努力することになった。

現在のフォーラムの構成：委員 9名，オブザーバ 1名

（骨材資源工学会が委員会の参加により委員が9名になった。）

以上

(2) 25年度インフラドック構築フィージビリティ調査研究委員会活動報告

JCI-TC125 コンクリート建造物のインフラドック構築フィージビリティ調査研究委員会

25年度のインフラドック構築フィージビリティ調査研究委員会の活動の概要（委員会開催月日+主な議題）を以下に示す。

第1回 2013年7月22日

① WGのテーマと名簿の確認

WG1；有用なコンクリートの欠陥評価法の整理

幹事；塩谷, 今本, 渡邊（健） 委員；奥出, 大野, 鈴木, 桃木, 増井, 湯山, 松山, 新村

WG2；インフラドック現場検査手順の確立

幹事；上田, 濱崎 委員；小林, 奥出, 鈴木, 渡辺（佳）, 渡邊（健）, 桃木, 増井, 西脇, 松田, 新村, 松山

② WG3；検査制度の確立と検査員としてのコンクリート診断士の活用

幹事；岡本, 横沢 委員；濱崎, 大野, 小林, 渡辺（佳）, 増井, 込山, 森濱, 加藤, 古賀, 峰松, 松山

③ JCI フォーラム概要報告（渡邊幹事）と個別意見の集約

④ 今後の活動方針（各WG幹事）と個別意見の集約

各WGの活動に関するアンケート調査（次回委員会までに集約）

第2回 2013年9月26日

① 各WGの目標、活動計画・内容の討議

WG1からの各委員への質問（アンケート；次回委員会での討議資料）

第3回 2014年1月23日

WG1 ①試験方法の適用限界・課題の抽出とモニタリングの定義づけ,

②劣化フェーズと検出対象とする現象やスケール及レベルの整理,

③それらを踏まえたリスクを考慮した試験法やモニタリングの提案,

④ケーススタディの実施と調査が活動内容として提案

WG2 ①調査の目的と核検討事項との関連性の検討メモの報告

②建造物の重要性や施設と関連している委員構成を考慮した担当建造物と担当者の案の提案

WG3 ①地域経済の現状と建設産業,

②地域の社会資本ストックと地域の問題点,

③インフラドックによる建設産業のサービス化についての報告

以上

報告 (4) JCD 幹事会名簿

	氏 名	JCD 担当	所 属	備 考
1	小野 定	副会長	(株)シーアント・アールコンサルタント	
2	田澤 雄二郎	会員担当理事	JCD 理事, TCD 副会長	
3	重松 和男	企画部会担当	TCD 監事	
4	木村 克彦	事務局次長	木村技術士事務所	
5	降矢 良男	広報部会担当	(株)日工技研	
6	峰松 敏和	技術部会担当	(有)テクノミネッツ	
7	星野 富夫	技術部会担当	(株)土木管理総合試験所	
8	篠川 俊夫	広報部会担当	(株)アサノ大成基礎エンジニアリング	メールかわら版
9	小林 剛	広報部会担当	(株)第一テクノコンサルタンツ	メールかわら版
10	毎田 敏郎	事務局長	(社)日本コンクリート診断士 会	
11	仲田 昌弘	広報部会担当	新東産業(株)	メールかわら版

以 上

Memo¹¹

JR 鉄道構造物の地震被害と今後の対策

設計の最終判断責任者がいかに連帯する。→ 技術判断の責任者がいかに必要。

・ 責任者がいかに議論が増えるか。

鉄筋が降伏しても混雑管理して、復元すれば、そのまま使用可。

高架橋はサドルで、ジョイントで修復。

・ 壊れ、作り直すとは、工事発注の認可必要、しかし、原形復旧であれば、必要ない。従って補修して、再利用が出来る。

土木、東電は耐震設計が確立しているが、高架のコンクリートの破壊に対する対策が乏しい。

災害時に必要にして。

○ マスクへの情報公開。

○ 復旧の技術判断の平判の確立 → (船頭は1人)

○ 復旧支援の3つの部分の確立

今後の地震対策

○ 高架橋・橋脚の追加対策 (耐震補強を完了して、移譲は、津日本大震災では被害ゼロ)

○ 首都圏地下型地震対策 (左半線の早期復旧) → 津比新幹線50余日で復旧。

○ 電柱の耐震補強 → PC線を切断し、新設に鉄筋で補強対策

↳ 降伏しないが、電柱の2/3以上を破壊

<会場からの質問>

被災構造物の基礎部はどのようになっている?

<回答>

基礎部の設計は含み資産があるため、重要であれば、現状復旧を固くしようとする。

JRでも同じ(スパン)と協議している(同様に議論がある) ⇒ 共用線は調査が出来る。